

六甲山 冬の風物詩「氷の切り出し」 「大寒の日」1月20日(木) 10時から開催予定!

六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治 阪神電気鉄道株式会社100%出資)が六甲山上で運営する「自然体感展望台 六甲枝垂(しだ)れ」では、2022年1月20日(木)に「氷棚(ひょうだな)」にできた天然の氷を切り出し、その氷を夏まで貯蔵するために「氷室(ひむろ)」に運び入れる「氷の切り出し」を行います。今現在、12月下旬の冷え込みの影響で順調に氷が固まっており、開催できる見込みです。



■ 自然体感展望台 六甲枝垂れ「氷の切り出し」開催概要

【開催日時】 2022年1月20日(木) 10時～

※荒天・結氷不良の場合、中止の可能性あり。詳しくは下記の連絡先までお問い合わせください。

【備考】 当日は、六甲枝垂れにご入場のお客様も見学していただけます。

氷を貯蔵する「氷室」は、通常は一般公開しておりませんが、1月20日(木)10～12時に限り、特別公開します。

【入場料】 大人(中学生以上) 310円 / 小人(4歳～小学生) 210円

◆お問合せ先

六甲山観光株式会社 観光事業部ガーデンテラス課
TEL:078-894-2281 / FAX:078-891-1171
〒657-0101 神戸市灘区六甲山町五介山1877-9

◆自然体感展望台 六甲枝垂れ 営業概要

【営業時間】 10:00～21:00(20:30受付終了) / 無休

※3月3日(木)、4日(金)はメンテナンスのため臨時休業します。

※季節・曜日により終了時間が異なります。詳しくはHPでご確認ください。

Web ページ(<https://www.rokkosan.com/gt/operation/>)

【入場料】 大人(中学生以上) 310円 / 小人(4歳～小学生) 210円



六甲枝垂れ
自然体感展望台

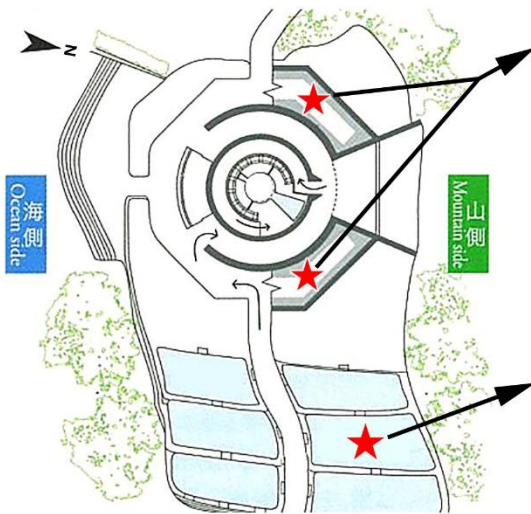


詳しくはコチラ

■ 「氷の切り出し」とは

「氷」は冷蔵庫が広く普及していくまで、大変貴重なものでした。六甲山では、山上の溜め池に厚く張った天然の氷を冬の間に取り採り・貯蔵し、春から夏にかけて麓まで運び、神戸や大阪の市街地で売っていたという歴史があります。氷を運んでいた道は「アイスロード」という名称で、現在もハイキング道として残っています。

「自然体感展望台 六甲枝垂れ」で行う「氷の切り出し」はこの歴史をヒントに考え出された自然循環の仕組みの一つです。今回行う「氷の切り出し」では、展望台東側に位置する「氷棚(ひょうだな)」で雨水を溜めて天然の氷を作り、チェーンソーを使って切り出します。切り出した氷は、展望台内部にある「氷室(ひむろ)」に貯蔵します。

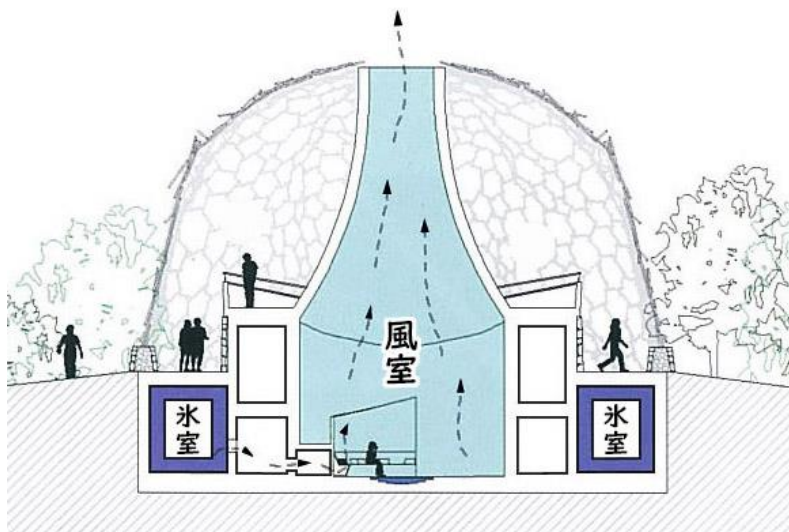


②展望台内部にある「氷室」に運び、夏まで氷を貯蔵します。



①「氷棚」にできた天然の氷を切り出し、運び出します。

夏になると氷を貯蔵した「氷室」へ六甲山上に吹く風を取り込み、展望台内部の「風室(ふうしつ)」に循環させ、電力を一切使用せずに自然の力だけで涼を楽しめる「冷風体験」を実施いたします。「氷室」を通った冷たい風は「風室」にある椅子のヒジ置き部分から室内へ取り込まれます。真夏でも風室内は20℃程度に保たれ、ヒノキの香りと共にひんやりと心地良い空間が広がります。



六甲山上に吹く風を「氷室」へ取り込み、「風室」に循環させる。



椅子のヒジ置き部分から冷風が取り込まれる。



「風室」の天井部分から空気が排出される。